

2015年8月12日～2021年3月31日の間に当科において肝生検を受けられたかたへ
「慢性肝疾患におけるミトファジーの関与に関する検討」へのご協力のお願い

研究責任者 川崎医科大学肝胆膵内科学 講師 原 裕一
研究分担者 川崎医科大学肝胆膵内科学 教授 日野啓輔
川崎医科大学肝胆膵内科学 講師 吉岡奈穂子
川崎医科大学肝胆膵内科学 講師 仁科惣治
川崎医科大学肝胆膵内科学 講師 富山恭行
川崎医科大学肝胆膵内科学 臨床助教 大海宏暢
川崎医科大学肝胆膵内科学 大学院生 西紋禮士
川崎医科大学総合内科学2 准教授 川中美和
川崎医科大学肝胆膵インターベンション学 特任教授 吉田浩司
川崎医科大学肝胆膵インターベンション学 特任講師 中島 義博

1. 研究の概要

肝臓の病状が進行する原因として細胞の中にあるミトコンドリアという器官の障害と活性酸素の増加が関連することがあきらかとなっています。ミトコンドリアはエネルギーを作る大事な器官ですから壊れたミトコンドリアを修復するシステムも備わっています。しかし慢性肝炎ではその修復システムも障害されていることが分かってきました。私たちはその修復システムに重要な役割をするタンパクを同定しています。今後このタンパクが新しいバイオマーカー（病気の変化や治療に対する反応の指標となるもの）として有用ではないかと考え、病気の進行とこのタンパクの関連を調べていきます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2015年8月12日～2021年3月31日の間に川崎医科大学附属病院肝胆膵内科および川崎医科大学総合医療センター（旧附属川崎病院）内科において肝生検をうけられた方300名（附属病院100名 総合医療センター200名）を対象とします。

2) 研究期間

2015年8月12日～2022年3月31日

3) 研究方法

2015年8月12日～2021年3月31日の間に川崎医科大学附属病院肝胆膵内科および川崎医科大学総合医療センター（旧附属川崎病院）において肝生検を受けられた方で、研究者が診療用法をもとに肝生検の組織を選び、慢性肝炎と新規タンパクの関連性を分析し、このタンパクが新しいバイオマーカーとして使用できないか調べます。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：年齢、性別

試料：血液、肝生検組織

5) 試料・情報の保存

この研究に使用した試料・情報は、論文等の発表から5年間、川崎医科大学肝胆膵内科学にて保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した試料・情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会に承認を得ます。

6) 研究計画書及び個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の試料などを閲覧または入手することができますので、お申し出ください。またこの研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹など、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についてわかりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了解いただけない場合には研究対象としないので、(2021年5月31日までの間に)下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 肝胆膵内科

氏名 原 裕一

電話：086-462-1111 内線 44182（平日9時～17時）

ファックス：086-464-1132

3. 資金と利益相反

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。

本研究は、学内研究費で実施されます。本研究に関する利益相反の有無及び内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。